

科目名 災害看護・国際看護 時間割表記名 災害看護・国際看護	配当時期 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者	
事前学習内容			
授業目標 1. 国内外の災害の現状を理解し、災害の看護の基礎的知識が理解できる。 2. 災害発生時の対応や体制について理解できる。 3. 災害のサイクルにおける災害医療や看護の役割が理解できる。 4. 国際化(世界化)時代における看護専門職の役割と責任、異文化理解について説明できる。 5. 保健・看護の国際協力とネットワークおよびその背景について説明できる。 6. 世界の健康リスクと格差、課題と戦略の概要について説明できる。			
DPとの関連 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 専門職業人としての責任を自覚し、広い視野にたつて物事を考え、自己研鑽することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	【災害看護】 1. 災害医療の基礎知識 1) 災害の定義 2) 災害の種類と健康被害 (1) 圧挫症候群(挫滅症候群、クラッシュ症候群) (2) 深部静脈血栓症(DVT) (3) 心的ストレス (4) 災害関連死	講義	テキスト①
2	2. 災害医療の特徴 1) 災害医療の考え方 2) 災害医療実施のための体系的なアプローチ(CSCATTT) 3) トリアージとは 4) 災害医療チーム(DMAT・DPAD) 5) マスギャザリングとNBC 災害	講義	テキスト①
3	3. 災害看護の基礎知識 1) 災害看護の定義と役割 2) 災害看護の対象 (1) 要配慮者 (2) 避難行動要支援者 3) 災害看護の特徴と看護活動	講義	テキスト①

	<p>(1)災害看護と救急看護の違いと共通点</p> <p>(2)災害看護と法律</p> <p>1)災害対策基本法</p>		
4	<p>4. 災害発生時の社会の対応やしきみ</p> <p>1)災害に関連する制度と情報伝達体制</p> <p>2)災害拠点病院の機能と役割</p> <p>3)災害関係各機関の支援体制</p> <p>4)災害情報の種類と内容 (危険情報・避難情報・被害情報・生活情報)</p>	講義	テキスト①
5	<p>5. 活動現場別の災害看護活動</p> <p>1)災害サイクルとは</p> <p>2)災害サイクルに対応した看護活動</p> <p>(1)超急性期・急性期 (2)亜急性期</p> <p>(3)慢性期 (4)復興期</p> <p>(5)静穏期・災害準備期</p> <p>2)災害看護活動における救護者の安全対応</p> <p>3)災害看護活動に必要な情報</p> <p>(1)被災地での情報収集</p> <p>4)災害看護活動におけるアセスメント</p>	講義	テキスト①
6	<p>6. 災害と感染制御</p> <p>1)災害後の時間経過と感染症の発生リスク</p> <p>2)被災地の感染制御</p> <p>3)災害時の感染症の動向と対策</p>		
7	<p>7. 災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護</p> <p>1)被災病院における初動体制の立ち上げと傷病者受け入れ</p> <p>2)救護所の立ち上げと傷病者への対応</p> <p>3)避難所における健康と生活支援</p> <p>4)仮設住宅における被災者生活支援</p> <p>5)復興期における被災住民への生活支援と看護の役割</p> <p>6)ボランティア</p>	講義	テキスト①
8	<p>8. 災害とこころのケア</p> <p>1)災害がもたらす精神的影響</p> <p>2)被災者のこころのケア</p> <p>3)遺族のこころのケア</p> <p>4)被災救援者のこころのケア</p> <p>5)救援者のストレスとこころのケア</p>	講義	テキスト①

9	6.災害時における看護支援活動 1)災害時に必要な技術 【トリアージ】【BLS】 【救急処置:代用品を用いた処置】 【搬送:担架・代用品を用いた搬送】	演習 シミュレーション	テキスト①
10			
11	筆記試験 (45分)	試験(筆記)	
12	【国際看護】 1. 看護・保健のグローバル化と看護職の役割と責任 1) 保健ネットワークの初期の動向 2) 国際連合の設立 3) 世界保健機関の設立 4) プライマリーヘルスケアのアルマアタ宣言 5) 国際保健の定義と範囲 6) 国際看護の定義と経緯:International NursingからGlobal Health Nursingへ	講義	テキスト①
13	2. 保健の国際ネットワーク 1) WHOの原則と目的 2) WHOの自治(世界保健総会、執行理事会、事務局) 3) WHOの地域的機関、予算 4) WHO看護・助産開発協力センターの活動 3. 日本の国際協力の概要 1) 開発協力と政府開発援助(二国間援助、多国間援助) 2) 政府開発援助大綱 3) 日本のODAの実績 4) ODAと国際協力機構(JICA) 5) 技術協力の種類と取組 6) 国際協力活動の実際	講義	テキスト①
14	4. 世界の健康－課題と戦略 1) 過去50年間の世界の健康 2) 健康リスク(貧困、環境要因、高齢化) 3) 世界の死因とDALYs(感染症、非感染性疾患、傷害) 4) 戦略(MDGs、SDGs、UHC)	講義	テキスト①
15	5. 異文化理解 1) 文化の定義 2) 文化の多様性と看護 3) 文化モデル 4) 文化的コンピテンシー 5) 文化への適応	講義	テキスト①

	6) 外国人への対応の実際		
16	筆記試験 (45分)	試験(筆記)	
<p>受講上の注意</p> <p>【災害看護】 講義と演習により学習する。評価は筆記試験で行う。</p> <p>【国際看護】 4回の講義により進める。評価は筆記試験で行う。</p>			<p>評価方法</p> <p>筆記試験</p>
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 看護の統合と実践 災害看護学・国際看護学 医学書院</p> <p>参考文献</p>			